

新たに仲間とともに
地域医療を支えています。

平成28年4月1、4、5日の3日間、ペガサスでは入職式・新入職員研修を開催しました。

入職式では、社会人、医療人としての第一歩を踏み出す、98名の新入職員を迎え、研修では、その彼らが、医療従事者として備えておくべき基礎知識、ペガサスの職員としてあるべき姿などを学びました。

また3日目にはグループワークも開催。ディスカッションや共同作業を通じて、学びとともに新入職員同士の親交も深めました。

ペガサスでは、新しく加わった98名の仲間とともに、今まで以上に地域医療に貢献していきたいと考えています。



4月から5人の研修医が学んでいます。

赤田 聡 高い知識や技術を備えていることはもちろん、病気ではなく人を診る、常に患者さま第一で考えられる医師になりたいです。



岡原一樹 将来は総合医をめざしています。さまざまな診療科があり、症例数も多いこの病院で、幅広い経験を積んでいきたいです。



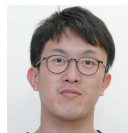
長谷川 涌也 地域の患者さまに寄り添った医療を提供するペガサスで、僕自身も、患者さまとご家族に寄り添えるのが理想です。



北國大樹 やる気さえあれば、たくさんのことを学び、実践できる病院です。めざすのは、常に患者さま中心の医療を行える医師です。



元家 亮太 大学院での学びのなかで、脳卒中に関心を持ちました。症例が多く、脳外科で有名な馬場記念病院で多くを学ぶつもりです。

ペガサス地域包括
ケアセンター

「なんでも相談」窓口あります
場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。
多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。
まずはお気軽にご相談ください。
お問い合わせ／TEL:072-265-5558
(担当 平岩)

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がい者の方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスグループ 株式会社ユニコ

夏場の脱水予防に水分補給ゼリーやOS-1も販売配達しております。
お問い合わせ／TEL:0120-062-505

堺市
紙おむつ
給付券
OK!



6月 ペガサスセミナー

大腸癌の健診について

講師：馬場記念病院
消化器科医師 寺田良太
日時：6月30日(木)午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

6月 ペルセウス介護
支援セミナー転倒防止お助け講座
～一緒に貯筋アップ～

講師：浜 公彦(理学療法士)
日時：6月29日(水)午後2時30分～
場所：介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3 階食堂

7月 ペガサスセミナー
和泉消費者被害に
あわないために

講師：ペガサスいきいきネット
相談支援センター
CSW 木村綾香
日時：7月28日(木)午後2時～3時
場所：介護療養型老人保健施設エクス

7月 ロイヤルリゾート
健康相談会

夏祭りを開催します

内容：出店など
日時：7月30日(土)
場所：ペガサスロイヤルリゾート

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人／馬場武彦
発行／社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発行／平成28年6月21日

Vol. 71

ペガサスから地域の皆さまへ

馬場記念病院に皮膚科を新設。
皮膚科専門医がお悩みに応えます。

平成28年4月、ペガサスは、馬場記念病院に新しく皮膚科を開設しました。皮膚科専門医の常勤医師2名(部長梅香路綾乃、医長 足立舞子)が、皮膚一般診療から美容診療(※)まで、多岐にわたってきめ細やかな診察・治療を行います。皮膚一般診療では、右表の治療を、美容診療では、シミ治療などを主に行います。

当科では、＜原因をあきらかにして、きれいに、できるだけ早く治す＞をモットーにしています。たとえば、アレルギー疾患では、普段何気なく触れているもの、食べているものが、湿疹やじんましんの原因になります。その原因を突き止めるためには、患者さまの習慣や生活環境を詳しく知ることが大切。私たちは、患者さまの声に耳を傾け、治療とQOL(生活の質)の向上をめざしていきます。
※美容診療については、開設時期が遅れますので適宜お問い合わせください。

●取り扱っている疾患

食物アレルギーなどのアレルギー疾患、薬疹、毛染めや化粧品などによる接触皮膚炎、じんましん、アトピー性皮膚炎、湿疹、にきび、みずむし、いぼ、ヘルペス、蜂窩織炎、水疱症、尋常性乾癬、円形脱毛症、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、褥瘡、陥入爪など。
※必要に応じて带状疱疹や蜂窩織炎などの入院治療も可能です。



診察室



化粧室

平成28年4月より、
乳腺専門外来を開始しました。

馬場記念病院では、外科において、＜乳腺専門外来＞を始めました。

対象は、乳腺疾患(乳腺のう胞、線維腺腫、石灰化など)で定期的な診察が必要な方、乳房に関して、痛みや違和感などを感じる方、そして、乳がん検診等で、精密検査や再検査が必要とされた方などです。こうした方は初めてでもご予約が可能。それ以外の自覚症状のない方は、通常の乳がん検診をお受けください。

ペガサスでは、乳腺専門外来を開始することで、地域の女性に安心と安全を提供していきます。



乳腺専門医 柏木伸一郎

外来週間予定表 受付13:00～15:00 診察14:00～16:00					
月	火	水	木	金	土
担当医	柏木伸一郎	担当医	寺岡 均	担当医	

乳がん検診週間予定表 8:30～17:00 ※土曜日は8:30～12:00					
月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	△

※完全予約制

＜乳腺専門外来について＞

- あらかじめ、電話でご予約を入れてから、受診してください。
- 初診の方は、他院からの紹介状が必要になります。
- 予約した日に受診できない場合は、事前にご連絡ください。

お問い合わせ／予約受付・変更・その他
TEL:072-265-9083(馬場記念病院 地域医療支援室)
お問い合わせ／通常の乳がん検診
TEL:072-265-6006(ペガサス健診センター)

病気を知ろう | 胆石

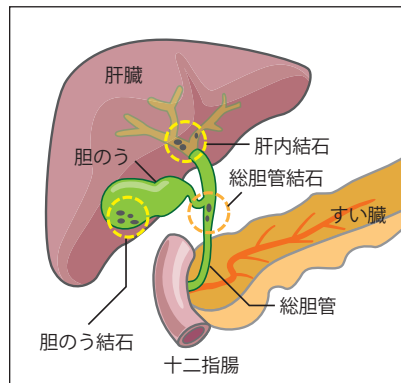
シリーズ no.2

命にかかわる
胆石もあります。監修
消化器科部長
原 順一

胆石という病気。

肝臓から出る「胆汁」が、胆のうや胆管で固まったものを「胆石」といいます。患者数は年々増え、現在、10人に1人が胆石症だといわれています。

胆石は、できる場所で大きく3つに分かれます。1つ目が「胆のう結石」。最も多く、胆石症の約80%を占めます。2つ目が「総胆管結石」で約20%。そして3つ目が、肝臓内部の胆管にできる「肝内結石」で、割合はわずか1%ほどです。



胆石のイメージ

胆石の原因と症状。

胆石は、成分によっていくつか種類があり、最も多いのが「コレステロール結石」です。これは、胆汁中のコレステロールが増加し、余ったものが溶けずに胆汁のなかで固まったもので、原因は、高脂肪食や肥満、脂質異常症、糖尿病、妊娠など。症状は、みぞおちや右脇腹の痛み、吐き気や嘔吐、発熱、そして、背中への痛みや黄疸などです。

また胆石が原因で、急性の胆管炎・胆のう炎を発症することがあります。重症化した場合は、命にかかわることもあります。

胆石の診断と治療。

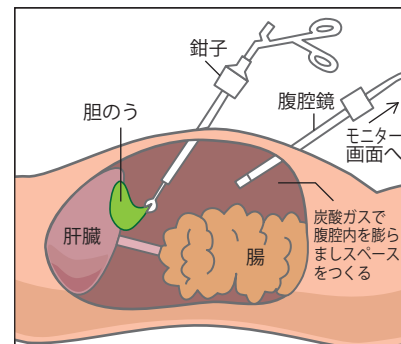
胆のう結石は、症状がなければ、基本的に経過観察で問題ありません。しかし、総胆管結石は、たとえ無症状でも、将来的に重症の急性胆管炎などを引き起こす危険があるので、

治療が必要です。

診断には、腹部超音波検査、CT、MRI、血液検査などが用いられます。最も一般的な方法は、腹部超音波検査で、胆のう結石のほぼすべて、総胆管結石でも約9割が見つかります。

胆のう結石の治療には、「胆のう摘出術」「胆石溶解療法」「超音波破碎治療法」などがあり、現在は、「胆のう摘出術」、特に「腹腔鏡下胆のう摘出術」が世界的な標準的治療法。傷が小さく回復も早いため、早期の退院・社会復帰が可能です。総胆管結石の治療においても、同様の理由で内視鏡治療が主流となっています。

当院は、腹腔鏡手術も内視鏡治療も実施可能。緊急性の高い患者さまには、消化器センターで24時間対応し、外科では、日帰り手術を行っています。



腹腔鏡下胆のう摘出術のイメージ

エキスパート | 消化器内視鏡技師

シリーズ no.2

消化器内視鏡の
安全な診療に尽くす。

消化器内視鏡技師とは。

消化器内視鏡技師とは、消化器内視鏡検査と治療の介助（検査の前処置や洗浄・消毒、機器管理など）および補助業務を行う技術者のこと。日本消化器内視鏡学会の認定資格で、実務経験などの要件を満たし、学術試験と口頭試問に合格した者に授与されます。なお資格には、第一種と第二種（准看護師が対象）があります。

現在、当院には、医療機器管理（ME）部に、大塚裕之と堀田幸佑の2名が在籍しています。

円滑な検査と治療実施に努め
安全性の向上に貢献します。

「＜内視鏡関連学会や講習会への継続参加＞＜最新のガイドラインに沿った、業務の見直しとマニュアル再編＞＜他のスタッフへの技術指導＞などの活動を通じ、消化器内視鏡チームの一員として、より一層の円滑な検査と治療に努めます」（大塚）。

「臨床工学技士が内視鏡業務を行う施設は少ないので、やりがいを感じます。今後も、安全性の向上に貢献し、学会発表を通じて当院の内視鏡検査と治療との関わり、発展に寄与したいと考えています」（堀田）。

大塚 裕之
臨床工学技士堀田 幸佑
臨床工学技士TOPICS
1 ペガサスグループ
地域講演会451名が参加する
地域講演会を開催しました。

平成28年5月28日、堺市立西文化会館（ウエスティ）にて、ペガサス地域講演会が開かれました。

当日は、14時から社会医療研究所の岡田玲一郎先生が、『生きて生きて生き抜く命』と題し、人生の最期や事前指定書（万一の際、自分の受けたい医療を書き記しておくもの）について講演。15時からは、馬場記念病院の脳外科副部長である宇野淳二医師が、脳卒中治療についてお話ししました。質疑応答では、ある男性が挙手。以前、脳卒中で救急搬送された際、宇野医師に助けられたこと、そして感謝の言葉を語ると、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



した。

併せて会場では、看護師、ケアマネジャーなどによる健康・介護相談会も実施。ペガサスグループの施設ごとにコーナーを設けて、参加者のご相談に応じました。

今後もペガサスでは、このような講演会を行うことで、地域の皆さまが、今、そして将来必要とする医療情報をお伝えしていきます。

TOPICS
2 馬場記念病院
馬場記念勉強会・登録医集会平成28年2月6日、
勉強会・登録医集会を開催。

第50回馬場記念病院勉強会と第17回登録医集会が、馬場記念病院にて開かれました。当院院長の馬場武彦の挨拶から始まり、勉強会では5つの講演を、登録医集会では、各診療科部長の紹介などが行われました。

●講演
「大腸癌の個別化治療について」 外科 野田英児
「発作性上室性頻拍の考え方」 循環器科 山下 啓
「地域連携バスの運用実績報告」 リハビリテーション科 西尾俊嗣
●登録医のための＜企画セミナー＞脳卒中
「脳卒中—統計と興味ある症例の提示—」 脳神経外科 魏 秀復
「脳梗塞の最新治療」 脳神経外科 宇野淳二

外科副部長
野田英児循環器科部長
山下 啓リハビリテーション科部長
西尾俊嗣脳神経外科部長
魏 秀復脳神経外科副部長
宇野淳二TOPICS
3 ペガサスグループ
第4回 南大阪リハビリテーション学会地域に必要なリハビリテーションを
より質高く提供するために。

平成28年3月19日、289名の参加者を集め、第4回南大阪リハビリテーション学会が、馬場記念病院にて開催されました。招待講演には、長崎リハビリテーション病院理事長の栗原正紀先生、同副院長の伊藤由美子先生をお招きし、それぞれ、『地域包括ケア時代』と『回復期リハビリにおける看護の役割』についてお話しいただきました。

南大阪地域におけるリハビリテーション提供職種のレベルアップと、地域市民の生活向上への寄与を目的に創立された本学会も、今年で4年目。今回からは、「地域包

括ケアシステム・QOL・復職」というカテゴリーも登場するなど、今後の医療、そしてそれに伴う生活を見据えた、学会となりました。

ペガサスではこうした活動を通して、時代を見据え、地域が必要とするリハビリテーションを提供できるよう図っていきます。

学会の様子

